



JTUC-aomori

No.344 2018年 8月10日

# れんごう 青森

発行 日本労働組合総連合会  
青森県連合会(連合青森)  
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子  
青森市本町3丁目3の11  
青森県労働福祉会館内  
TEL (017) 735-0551  
FAX (017) 735-0553  
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>  
月1回発行 1部10円  
(組合員の購読料は会費の中に含む)

## 候補者擁立、バックアップ体制など早急な議論求める！

### 国民民主党青森県連と連合青森との第33回定期協議



連合青森は7月30日(金)17時から青森市の県労働福祉会館にて「国民民主党青森県連と連合青森との第33回定期協議」を開催し、来年の参院選や統一地方選の対応について意見交換がされた。

国民民主党青森県総支部連合会田名部匡代代表は2年前の自身の選挙を振り返り、「力の結集が欠かせなかった。そして多くの皆さんの力を借りて国政に送っていただいた。今後の各種選挙においても青森での力の結集につなげていけるよう、県連代表として全力で取り組んでいく」と挨拶した。

次に連合青森内村隆志会長は「新党の体制も含め、来年にかけての様々な選挙がある中で、連絡不足感が正直ある。課題があるからこそ逐一、連絡を取り意思疎通を図っていくことが重要だ」と強調した上で、「10月の青森市議選に始まり来年の選挙に向け、候補者擁立、バックアップ体制など早急に議論を進めていただきたい」と述べた。

続いて国民民主党大塚耕平共同代表は「47都道府県において野党共闘の有無など事情が異なることを理解した上で、それぞれの地域モデルを創り、青森の非与党と野党の支持者が大きく結束できる工夫を手に入れたい」と挨拶した。

その後、意見交換に入り党勢力拡大について

「国会議員に頼った党員、サポーター作りでなく、自治体議員も積極的に拡大すべき」や「各地区で積極的にミニ集会を行い、これを足掛かりに拡大を試みてはどうか」、「非自民をどのようにまとめていくのか」、また青森モデルについては「前参院選では東北、青森においては特殊且つ成功モデルとなった。この成功モデルをもう一度、示してみてもどうか」など様々な意見、要望が出された。



力の結集に繋ぐと語る田名部県連代表



早急な候補者擁立を求める内村会長



地域モデル創りを求める大塚共同代表

## 人間の知恵と努力で回避を！

## 青森空襲「7.28平和の集い」

連合青森は7月27日（金）18時から青森市の県労働福祉会館にて「青森空襲7.28平和の集い」を開催し、各組織から80名が参加した。戦争という悲惨な出来事を語り継ぎ、二度とこの過ちをおかしてはいけないと誓い合い、73年前の青森空襲で1,018名にも及んだ犠牲者の方々に「黙祷」を捧げた。

主催者あいさつに立った連合青森内村隆志会長は「日常の生活を理不尽に奪う戦争は人為的につくり出されたものであり、人間の知恵と努力で回避することができるものでもある。長い年月が経っても失せることのない戦争による憎しみ苦しみは、二度と味わってはいけない。平和の尊さを改めて感じ、考え、どうすれば守っていけるか共有しなければいけない」と強調した。

次に青森空襲を記録する会の今村修会長は「すべてを殺してすべてを破壊し焼き尽くせ。という悲惨な出来事から73年、この間平和が続いたことは空襲を体験した人たちがこの過ちを二度と起こしてはいけないと願いを込めて作りあげたとい



戦争の記憶を語る  
佐藤ちよ氏



参加者全員で黙祷  
を捧げる

うことを覚えておいてほしい」と述べた。

続いて「戦争の記憶」と題し、語り部・佐藤ちよ氏より体験談が語られた。佐藤氏は当時小学6年生。「生後3ヶ月の妹を抱き、手や足に火傷を負いながらも母は、私と弟の手を痛いくらい引っ張りながら焼夷弾から逃れ走った。簡素な防空壕に避難すると水が20センチほど溜まっていて、避難している人は皆、熱風が入り蒸し暑い中であったが、恐怖でガタガタ震えていた」と当時の記憶を語った。

## 連合青森2019地域ミニマム運動

### 個別賃金実態調査に参加し自身の賃金をしっかり把握し、19春季生活闘争を勝ち抜こう

中小組合では賃金制度が確立していないところが多く、定期昇給相当分や賃金カーブ維持分など金額を把握せずして、春の賃上げ交渉に挑んでいるケースが多く見られます。賃金実態を把握せぬまま会社と交渉すると、経営者側の言うがままになってしまいます。

連合青森ではこのような地場中小組合のための取り組みとし「個別賃金実態調査」と展開

し、賃金データの分析（賃金カーブ維持分や定期昇給相当分の算出、賃金カーブ作成）をし、当該組合にお返しするという取り組みを行っています。

是非、この取り組みに参加し19春季生活闘争を勝ち抜くために前進しましょう。詳細は連合青森まで問い合わせください。

ON AIR

連合青森提供

『お仕事お悩み相談室』 FM青森で放送中！

番組名 毎週 木曜日 9:50~10:00

放送日 FM青森『OH! HAPPY MORNING』



## 西日本豪雨災害「緊急支援カンパ」の実施

豪雨災害により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成30年7月に岡山、広島、愛媛県など西日本を襲った記録的豪雨は220名もの尊い命を奪い、広範囲に甚大な被害を与えた。日を追うごとに被害が拡大し、家を失った多くの方々は避難所生活を余儀なくされ、ライフラインの復旧も困難を期している。

連合は災害後直ちに「西日本豪雨災害情報センター」を立ち上げ、当該地方連合会に対し「連合愛のカンパ」から支援金を拠出するなど、救援の取り組みを行っている。また当該地方連合会ではボランティア活動もスタートさせた。

連合青森も一日も早い復旧を願い『連合青森が今できる最善のボランティア活動』として、「緊急支援カンパ」と銘打った募金活動を7月19日（木）と25日（水）、8月1日（水）、さくら野青森店前で実施し、たくさんのご厚意をいただいた。

連合青森は各地域協議会と共に引き続き、募金活動に取り組み、また連合では下記の通り『救援カンパ』専用口座を開設し、協力を呼び掛けている。各構成組織の皆さまにご協力、ご支援をお願いする。



7月19日（木）  
緊急支援カンパ第1弾



7月25日（水）  
緊急支援カンパ第2弾



8月1日（水）  
緊急支援カンパ第3弾

### 連合『救援カンパ』振込先

振込先：中央労働金庫 本店営業部 普通 0145414

口座名：連合西日本豪雨カンパ

※労金窓口での振込は振込手数料が減免されます。

集約：（第1次）9月14日・（第2次・最終）11月30日

### 2018年8月行動予定 8月10日現在

- 8月24日（金）15時30分 県労働福祉会館  
「2018第2回構成組織出身議員との懇談会」
- 8月30日（木）14時10分 県庁知事室  
「2018青森県への政策要請」

### 2018年9月行動予定

- 9月5日（水）11時30分 さくら野青森店前  
「連合の日街頭行動」
- 9月7日（金）～10日（月）  
「2018平和行動in根室」
- 9月10日（月）17時45分 県労働福祉会館  
「第2回食みみ実行委員会」



ろうきんで、始める資産作り

資産形成支援

2018年  
4/20(日)~9/28(金)

# ニコっと キャンペーン

今ならもれなく

QUOカード  
最大 **1,000**円分  
プレゼント!

QUOカードプレゼントの  
対象となる方

- A** 期間内に  
iDeCoの新規お申込みをされた方
- B** 期間内に  
NISA口座を利用して投資信託を  
新規10万円以上のご購入または  
年間6万円以上の定時定額買付を  
ご契約された方

※インターネットバンキング投資信託にて、  
ご購入のお客様はお手数ですが、店頭等へ  
お申し付け下さい。

話題のNISA、iDeCoを  
活用してみませんか?



©ROKIN

©ROKIN



0120-1919-62

<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

※詳しくはお近くのろうきん窓口へお問い合わせください。

【商号】東北労働金庫  
【登録金融機関】東北財務局長(登録)第09号  
【加入協会】なし

2018年4月1日現在

ZENROSAI NEWS  
0217A001



マイカー共済とあわせての加入を

**自賠責共済**

自動車損害賠償責任共済

カーライフを応援する、頼れる補償

**マイカー共済**

自動車総合補償共済

頼れる補償をお望みの方も、  
安全運転が長い方も、  
マイカー共済です。

自賠責共済もお忘れなく!!

保障のことなら  
**全労済**  
全労済青森推進本部

(青森県労働者共済生活協同組合)

車検前、  
全労済で  
自賠責で  
!

<保障のご相談は最寄の共済ショップまで!!>

共済ショップ青森店 青森市本町3-4-17

共済ショップ五所川原店 五所川原市中央4-100

共済ショップ八戸店 八戸市柏崎5-4-7

共済ショップ十和田店 十和田市元町東1-8-15

共済ショップ弘前店 弘前市萱町16-1

共済ショップむつ店 むつ市新町16-5